

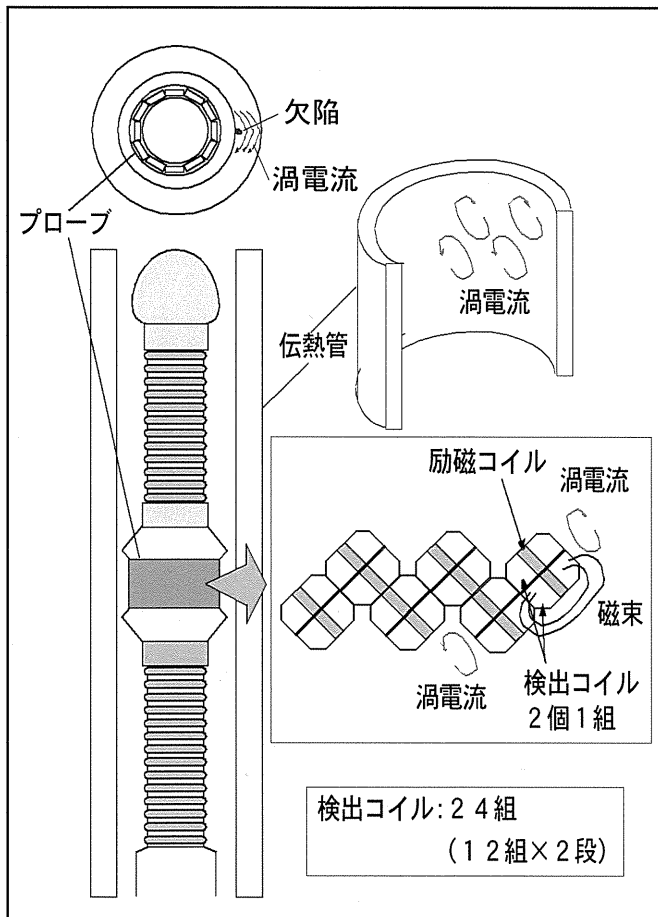
用語の説明

○渦流探傷検査 (ECT : Eddy Current Test)

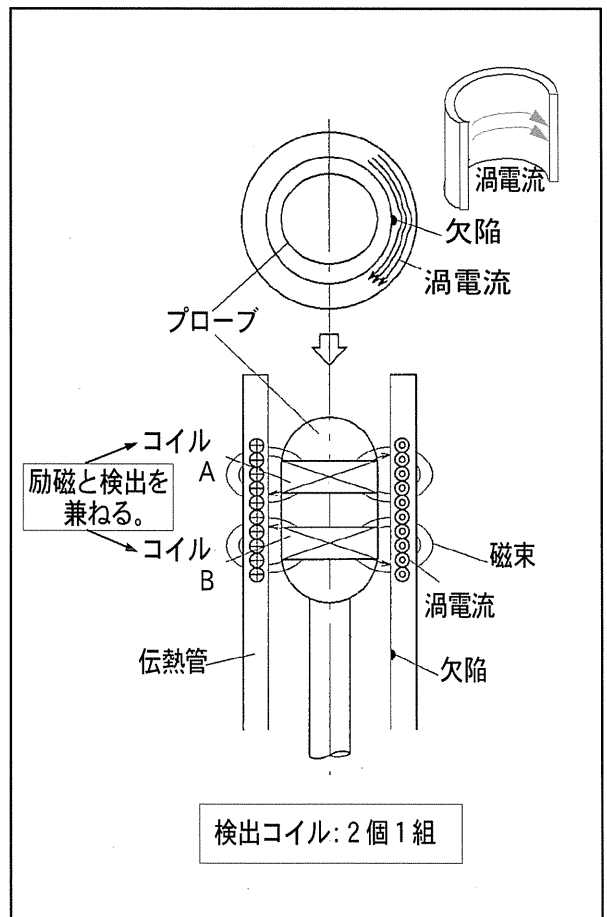
伝熱管内に検査用のプローブを挿入しコイルに電流を流したとき、異常（減肉、クラック等）があると、正常な場合と比較して電流変化が起きる。この伝熱管に流れる渦電流の変化をコイルの電気信号で検出して検査するもの。検出された正常な場合と異なった信号指示を「有意な信号指示」と呼んでいる。

今回の定期検査から導入したインテリジェント（マルチコイル型）ECTは、小型化したコイル24組を周方向に配置し、局所的に渦電流の変化を検出可能とするなど、2個1組のコイルで検出していた従来型と比べ検出性を向上させている。

インテリジェント(マルチコイル型)ECT



(参考)従来型 ECT (DF - ECT)



○施栓

蒸気発生器伝熱管に損傷が認められた場合の補修方法の一つで、原子炉から送られてくる高温の水が通らないように伝熱管出入口部分にプラグと呼ばれる金属の栓をする方法。

○振止め金具

蒸気発生器伝熱管U字管部に設置され、伝熱管外面を流れる流体により振動する伝熱管の振れを防止するための装置。

改良型振止め金具とは、材質変更により伝熱管の摩耗性を改良したり、金具と伝熱管のすき間をより狭くするなど、支持状態の改善を図ったもの。

